

ごあいさつ



東京YMCA 賛助会会長
野村ホールディングス株式会社
名誉顧問

氏家 純一

創立以来138年、東京YMCAは青少年の限りない成長を願い、様々な社会課題に向き合いながらその使命を果たしてきました。その働きは、いつの時代においても使命に賛同する方々の尊い志によって担われ支えられてきたことはご存じのとおりです。

昨今、国内外に於いて災害による多くの被害が報道されておりますが、一昨年の熊本地震の際には、東京YMCAのスタッフや学生、ボランティアが継続的に派遣され、避難所運営や被災者の支援活動において重要な役割を果たしました。賛助会会員の皆様から寄せられた多くのご支援がこの働きを力強く支えてきましたが、熊本地震発生より2年が経った被災地では、今なお35,000名が仮設住宅での生活を余儀なくされています。子どもたちのレクリエーションや仮設住宅の居住者の支援活動は、今後も長期的な支援が必要とされています。そのため、全国のYMCAでは、募金期間を延長して被災者の支援活動に取り組む事としました。未来に向かってのお支えを引き続き宜しくお願い致します。

また、多様化し複雑化していく現在の社会環境の中で、生きづらさを感じる子どもや若者がいることにも目を向けなければいけません。YMCAに求められる働きがここにもあります。キャンプを初めとするYMCAの青少年プログラムは、子どもや若者が「誰かとつながる体験」の場です。その体験は明日を担う子どもや若者の未来を輝かせる力を持っていると確信しています。

私たち企業は、このYMCAの働きに力を寄せていくことで社会的責任を果たしていきたいと願います。この尊い志の輪に連なる賛助会会員の皆様には、これまでのご支援に感謝するとともに、引き続き東京YMCAの働きにご支援いただくことをお願い申し上げます。



公益財団法人 東京YMCA
代表理事・総主事

菅谷 淳

平素より、東京YMCAの諸事業に格別なるご理解とご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。この一年も賛助会員の皆様には物心両面にわたる力強いお励ましをいただき、お陰様でYMCAの使命と理念に基づいた働きを着実に進めることができました。

「2016-2018年度東京YMCA中期計画」の2年目であった昨年度は、組織の基盤を一層強化するための様々な改革に着手し、その一環として本部事務局の移転や、部門間の有機的な連携に向けた事業再編を実行に移しました。

また、「YMCAブランドの再生」を目指し、全国のYMCAでは2017年10月より一斉に社会に向けて統一されたYMCAイメージの発信を開始しました。刷新されたブランドロゴや、ブランドスローガンの「みつかる つながる よくなっていく」、YMCAの目指すビジョンである「ポジティブネット」などを目にされたかもしれません。全国のYMCAが外見も内面も一つとなり、もう一度私たちの役割を根源から問い直し、社会貢献団体としてふさわしいYMCAとして変革していこうとしております。

未来を担う子どもたちや青少年に、真に豊かな社会を引き継いでいくために、誠心誠意取り組みを進め、柔軟にチャレンジしてまいります。そのためには賛助会員の皆様のお力が不可欠です。引き続きのご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

賛助会役員

会 長	氏家 純一	野村ホールディングス株式会社 名誉顧問
名誉会長	橋本 徹	みずほフィナンシャルグループ名誉顧問
	北城 恪太郎	経済同友会 終身幹事・日本アイ・ビー・エム株式会社名誉相談役
理 事	高橋 宏典	AIG損害保険株式会社 執行役員兼CDO
理 事	茂木 友三郎	キッコーマン株式会社 取締役 名誉会長 取締役会議長
理 事	見目 信樹	株式会社日清製粉グループ本社 取締役社長
理 事	大谷 和彦	株式会社ニュー・オータニ 代表取締役社長
理 事	五十嵐 素一	株式会社白洋舎 代表取締役社長
理 事	村越 晃	三菱商事株式会社 常務執行役員
理 事	飯島 延浩	山崎製パン株式会社 代表取締役社長

歴代賛助会会長

初 代	安川 第五郎	(元日本原子力発電 会長)
第 2 代	田實 涉	(元三菱銀行)
第 3 代	駒井 健一郎	(元日立製作所)
第 4 代	小山 五郎	(元三井銀行)
第 5 代	佐波 正一	(元株式会社東芝 特別顧問)
第 6 代	橋本 徹	(みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問)
第 7 代	北城 恪太郎	(経済同友会 終身幹事・日本アイ・ビー・エム株式会社名誉相談役)
第 8 代	氏家 純一	(野村ホールディングス株式会社 名誉顧問)

2018年度 表彰賛助会員

継続50年	株式会社日清製粉グループ本社 サントリーホールディングス株式会社 ライオン株式会社 株式会社資生堂 株式会社日立製作所 株式会社三井住友銀行 ユアサハラ法律特許事務所 株式会社白洋舎	継続35年	山崎製パン株式会社
		継続20年	有限会社バンノ・インターナショナル 株式会社花藤
		新入会員	社会保険労務士法人礎 青木建設株式会社 株式会社ロータスインターナショナル 株式会社信陽 株式会社アクアビルトコーポレーション
継続45年	木村農産商事株式会社 株式会社タカサゴ 医療法人財団福音医療会		

会費・ご寄付によるご支援

2017年度も東京YMCAの諸活動にご支援とお励ましをいただき、心より感謝申し上げます。

個人会費・賛助会費

2017年度個人会費 ¥12,749,689 賛助会費 ¥10,689,676

YMCAの使命・趣旨にご賛同いただいた個人、企業、団体に、会費によるご支援をいただいております。以下の活動を中心に、東京YMCAの公益活動に用いました。

障がい児支援

知的障がい 発達障がい他

不登校等青少年支援(liby)

居場所活動

ユースボランティア育成

子ども達のキャンプリーダー他

国際協力活動

バングラデシュ教育支援他

災害復興支援

東日本・熊本大地震 他

その他の公益活動

地域支援活動

フレンドシップファンド

2017年度募金額 ¥2,682,647 支援実績10名

経済的に困難なご家庭の子どもや養護施設の子どもたちに、キャンプなどのYMCAの活動参加費を援助し、心身の豊かな成長に繋がるかけがえのない体験を提供することができました。

国際協力募金

2017年度募金額 ¥3,591,720

バングラデシュの働く子ども達への奨学金など、アジアの子ども達の教育支援をはじめ、世界YMCAのネットワークを生かした国際協力活動、留学生支援、青少年育成事業に用いました。



東日本大震災復興支援募金

2017年度募金額 ¥2,105,221

東日本大震災と原発事故によって被災した石巻地域、及び福島 of 被災者を支援するため、ワークキャンプや仮設住宅高齢者支援、子どもプログラムなど、多様なボランティア活動を行いました。



熊本大地震緊急支援募金

2017年度募金額 ¥3,868,752

2016年4月14日に熊本でマグニチュード7.3を含む連続地震がおき、直後から熊本YMCAが運営する2つの避難所にスタッフを派遣しました。全国YMCAと協力して支援活動を継続しています。



インターナショナル・チャリティーラン

2017年度支援額 ¥6,238,489

障がい児支援を目的とした駅伝大会で、31回目となった2017年度は48チームが参加しました。益金は障がい児を支援するプログラムのために用いさせて頂きました。



遺贈による寄付制度

遺言書により、東京YMCAに財産の一部を寄付する制度で、提携している信託銀行が、法に則り遺言書作成、保管、実現を手伝います。